

## 一編集後記一

2002年9月、満を持して『新編土壌物理用語事典』が出版された。私は座右の書として日々活用している。

さて、この用語集で最も驚いたのが圧力ポテンシャルについての記述である。「定義は国際的に統一されていない。…混乱状況にある。」とのこと。ポテンシャル概念が土壌物理の世界に利用され始めてから既に半世紀以上過ぎている。ポテンシャル量は熱力学第2法則（エントロピーの増大）を基礎にしたものであるため、厳密な定量化が困難なためではないだろうか。

土壌の物理性を考察するには現象の数値化、定式化が必要となる。利用しやすい数式やパラメータが引用され

始めると、作者の意図を超えて爆発的に利用者の増加を招くことがある。そうになると、利用者は数式やパラメータのもつ根本的な意味や適応限界の分析を忘れ、応用にはばかり興味関心が払われる危険があるのではないだろうか。水分特性曲線式や $\theta_r$ はその典型ではないだろうか。

人が月に行く時代であっても、華々しい応用研究のみに目を奪われることなく基礎研究ただ乗りと諸外国の研究者から批判されないしっかりとした基盤を持ちたい。『土壌の物理性』の誌面を通して本質を見抜く洞察力を研鑽したいと考える。

(粟生田)

### 土壌物理学会

事務局構成	会 長	宮崎 毅 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	副 会 長	岡崎 正規 (東京農工大学大学院)
	庶務幹事	溝口 勝 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	会計幹事	井本 博美 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	編集幹事	関 勝寿 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
	”	安中 武幸 (山形大学農学部)
	会計監査	加藤 誠 (東京農工大学農学部)
編集委員会	”	金子 文宣 (千葉県農業試験場)
	委 員 長	柏淵 辰昭 (山形大学農学部)
	委 員	古賀 潔 (岩手大学農学部)
		藤井 克己 (岩手大学農学部)
		佐藤 照男 (秋田県立大学短期大学部)
		粟生田忠雄 (新潟大学農学部)
		足立一日出 (独立行政法人農業技術研究機構)
		吉田修一郎 (独立行政法人農業技術研究機構)
		花山 奨 (山形大学農学部)
		南條 正己 (東北大学農学部)

土壌の物理性 第92号 (会員配布) 2003年3月15日発行

### 発行 土 壌 物 理 学 会

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院 農学生命科学研究科

生物・環境工学専攻 環境地水学研究室内

電 話 03-5841-5351, 5374 FAX 03-5841-8171

E-mail : sp-staff@soil.en.a.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://soil.en.a.u-tokyo.ac.jp/jssp/>

銀行口座 みずほ銀行 本郷支店

普通 2407673 土壌物理学会 代表 宮崎 毅

印 刷 創文印刷工業株式会社

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16